



Q・七十五歳になる祖父がいます。最近、物忘れがひどくなり、御飯を何度も食べた、夜、外に出るようになり、近所の医者に相談したところ老人性の痴呆（ぼけ）だと言われました。どういう病気なのでしょう。この先どうしたらいいのでしょうか。

A・痴呆（ぼけ）と言っても幅が広く、一言では言えませんが、医学的に言うと、ただの物忘れではなく、例えば「今日は何日だったろうか」「ここはどこだろうか」という物の見当や判断がつかなくなったり、あるいは人格までが少し変わってしまう状態があります。

第一の原因は

動脈硬化です

ぼけの原因は動脈硬化がいちばん多いようです。動脈硬化のために脳に行っている血管が、急に詰まって細くなったり、あるいは、出血をおこす脳卒中の後におきるケースが非常に多く、ぼけは体の病気からはじまるようです。

ぼけには引き金がある

ぼけは、病気などの身体的原因に加え、急激な環境の変化が引き金となって起こったり、悪化させたりします。特に配偶者（夫や妻）が亡くなったり、本人が入院をするなど、ぼけになるケースが多いようです。

介護の基本とかかわり方

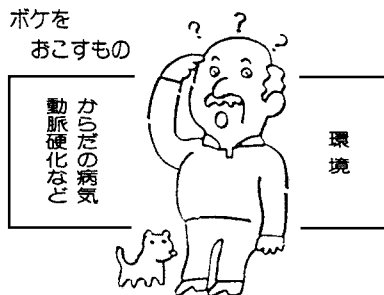
介護の基本は家族の愛情です。そして相手をよく理解しできないところはできないこととして認め、できることに合わせてみるのが大切です。また、相手を尊重し、気持やプライドを傷つけないように言葉づかい、接し方に気を配りましょう。「朝食はまだ」と言っても「おじいさん、さつき食べたでしょう」という言い方でなく「そうですか。でも朝食はすませたと思います

すが」と、遠廻しに否定する言い方に変えましょう。

また、外に出ることに對しては外に出さないための対策でなく、老人の身を守るような対策を考えましょう。例えば出入りのわかるようなベルの設置、氏名、住所、電話番号がわかるような工夫を考えてみましょう。

外出は禁止せず、気分転換と一緒に日中外に出かけてみたらいいでしょう。きっと良い方に変わってくると思います。

こういう問題は、一人だけで抱えていないで、近所のお医者さんとか、市役所の保健婦に相談して下さい。こういったぼけ老人はこれから、地域の問題になってくるでしょう。



老人家庭介護教室

老人の理解、介護の基本と実際に、また話し合いや、個別相談も行います。家族の協力を得て出席しましょう。

——老人家庭介護教室——

日 時	場 所	内 容
11月6日(水) 1時30分	文化会館	～老人を理解しよう～ ・介護する者の心得 ・個別相談
11月20日(水) 1時30分	文化会館	～介護の基本と実際～ ・日常生活のお世話 ～医療・福祉制度の活用～

相談・問い合わせ 大月保健所 (22)1271 保健指導課
都留市役所 (43)1111 保健環境課

「クロー」さんからのメッセージ

嘘をつくのは許せません

動物達は大自然の中で正直に生きています。人間はどうでしょう。交通戦争や欲望のためにルールをわきまえず罪を犯す人がいるんですね。被害を受けた人は訴えますが、犯人は嘘をついて逃げ廻り不起訴処分（裁判にか

けられないこと）でまた人間社会に隠れてしまう。

イヤーこれは必ず恨みが残りますね。こんな悩みのある方は検察審査会に相談しましょう。あなたの事件を調べ直してくださいますよ。

◎交通事故・詐欺・選挙違反などの刑事事件のうち、不起訴処分になった事件を審査します。

●あなたも検察審査会に選ばれることがあります。

●相談・申立についての費用は一切無料です。

問合先 都留検察審査協会

甲府地方裁判所都留支部内
都留市中央二丁目一一

☎(43)2185

NTT

からお知らせ

都留電報電話局創立三十周年を記念して、電話局の機械室、マンホール、電話ケーブ等通信施設の一般公開を行います。

日 時 11月23日 (土)

午前9時～午後4時

場 所 都留電報電話局（上谷三丁目）

なお、当日は各種通信機器の展示会も企画しておりますので、皆様のご来場をお待ちしております。